

平成30年1月10日

保護者の皆さま

大阪府立豊中高等学校
校長 平野 裕一

学校教育自己診断に関するアンケート調査結果について

平素は本校の教育活動にご理解、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、今年度も「学校教育自己診断」を10月に実施し、699名(64.2%)の保護者の皆さまから回答をいただきました。生徒実施分1089名(97.6%)とあわせて結果とそのまとめを報告いたします。

昨年同様に肯定的な回答が大半ではありましたが、個々に見ると改善を要する項目や、より力を入れていかなければならない項目もあります。例えば、豊中高校に「行くのが楽しい」と回答した割合は、保護者・生徒とも約85~90%の肯定的評価(そう思う、まあそう思うの合計)でしたが、生徒の回答で「学習の評価」に関する項目については、まだまだ改善の余地があります。

3年間を通して勉学と部活動の両立を心がけ、授業を大切にすることが進路実現への最も近道であることを踏まえ、自学自習の態度を育成し、自宅での学習時間を有効に活用し、学習の質を上げていくことが最重要課題と考えております。学校では、授業の質を高めるとともに、学習意欲のさらなる向上をめざして、GLHS(グローバルリーダーズハイスクール)校としての多様な企画やSSH及びSGH事業をはじめとした課題研究、土曜日午前の講習、土曜セミナー等を行っています。ご家庭におかれましても学習習慣の確立に向けてご協力いただきますようお願いいたします。

生徒アンケート調査結果のまとめ

※以下、①は1年生、②は2年生、③は3年生の結果です。

1. 学習活動について

項目29「学習と部活動を両立している」と回答した生徒

(H28)①57.0%, ②55.7%, ③73.8% ⇒(H29)①60.8%, ②56.7%, ③76.0%、

項目7「家庭学習の習慣がついている」と回答した生徒

(H28)①41.2%, ②37.2%, ③80.5% ⇒(H29)①40.2%, ②43.4%, ③87.2%

項目8「平日の家庭学習時間が2時間以上」と回答した生徒

(H28)①23.0%, ②18.6%, ③86.2% ⇒(H29)①20.7%, ②25.4%, ③91.6%

となっており、まだまだ改善の余地があります。特に1, 2年生については、家庭学習の習慣をつけるとともに、平日に「(学年)+1」時間以上は自宅での学習時間を確保して欲しいと思います。

また、項目14「わからない所を質問に行ったら、ていねいに教えてもらえる」の肯定的評価が(H28)91.0% ⇒ (H29)93.6% ありました。生徒が、授業や自学自習を行う中でわからない問題に出会ったとき、教員に質問に行く習慣、その際教員が丁寧な指導をしていることが伺えます。また項目4「授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある」の肯定的評価は全学年の平均で(H28)69.2% ⇒ (H29)69.6% でした。豊中高校では、受験に対応する高いレベルの授業内容を保ちながら、生徒たちが自ら考え、自ら学ぶ姿勢を養う授業の在り方を「豊高型アクティブラーニング」授業と名付け、教員の授業力向上研修を実施するなど授業改善に取り組んでいます。その成果指標のひとつとして、肯定的評価が高くなるよう取り組みを進めていきたいと思っております。

さらに項目10「自習室(多目的室)を利用している」の肯定的評価が(H28)18.2% ⇒ (H29)35.6%、項目31「本を借りて読んだり、調べ学習をしたりして図書館を利用している」の肯定的評価が(H28)10.7% ⇒ (H29)21.9% と、昨年度よりも利用率が上がりましたが、昨年度より本格的に導入してい

る「ノークラブデー」や課題研究等の授業を有効的に活用し、自習室・図書室の利用促進を図っていきたいと考えております。

SSH 及び SGH 事業や、本校独自の学習サポートプログラム、海外研修などの多様な企画について知っているかを尋ねた項目 15, 16, 17 の認知度は

項目 15-SSH (H28) 73.3% ⇒ (H29) 79.1%、

項目 16-SGH (H28) 69.3% ⇒ (H29) 75.2%、

項目 17-学校独自 (H28) 67.0% ⇒ (H29) 77.4% でした。

2. 進路指導について

項目 5 「自分の希望進路に応じた選択科目が用意されている」の肯定的評価が (H28) 84.6% ⇒ (H29) 86.8%、項目 18 「学校では進路についての情報を得ることができる」の肯定的評価 (H28) 85.4% ⇒ (H29) 85.5%、項目 19 「将来の進路や生き方について考える機会がある」の肯定的評価が (H28) 79.1% ⇒ (H29) 82.7%、項目 23 「先生は進路・学校生活の悩みや相談に親身になって応じてくれる」の肯定的評価が (H28) 76.0% ⇒ (H29) 82.6% と増加。また、項目 20 「希望する進路を実現するための講習や補習が充実している」の肯定的評価が (H28) 67.1% ⇒ (H29) 69.6% と少し評価が上がりましたが、さらに肯定的評価が上がるように、今後も土曜講習の充実および参加率向上、よりタイムリーな進路情報提供に工夫を凝らしていきたいと考えております。

3. 行事、部活動等、生徒指導について

豊高生の学校行事やHR活動への満足度は高く、部活動の参加率の高さとあわせて充実した学校生活を送っていると考えられます。

項目 21 「学校生活についての先生の指導は納得できる」の肯定的評価は (H28) 75.8% ⇒ (H29) 79.7% と、学校のルール遵守への指導の理解も進んでいると考えております。他方、項目 25 「担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談することができる先生がいる」の肯定的評価は (H28) 46.2% ⇒ (H29) 49.7% と低いことから、校内教育相談室体制の周知に努めるとともに、カウンセリングマインドをもった生徒指導の充実を図っていききたいと考えております。

4. 全般について

項目 1 「学校に行くのが楽しい」と回答する生徒は

(H28)①84.1%, ②87.5%, ③ 82.2% ⇒(H29)①85.1%, ②86.0%, ③ 83.8%、

項目 33 「入学してよかった」と回答する生徒は、

(H28)①88.6%, ②90.2%, ③ 88.9% ⇒(H29)①83.7%, ②89.9%, ③ 93.6%、

と、楽しく充実した学校生活を過ごしている様子が伺われます。

保護者アンケート調査結果のまとめ

1. 学習について

学習面では、項目 6 「学習評価の仕方は納得できる」について9割の肯定的評価 (H28) 90.4% ⇒ (H29) 90.3%。をいただきましたが、項目 5 「子どもは授業がわかりやすく楽しいと言っている」についての肯定的評価は (H28) 58.9% ⇒ (H29) 62.1%、項目 7 「授業内容が子どもの学習や発達に刺激を与えている」についての肯定的評価は (H28) 72.5% ⇒ (H29) 74.9% でした。「豊高型アクティブラーニング」授業を始めとした、教材や指導方法の工夫とともに学習意欲を高める講演や行事の取組みをさらに進めていく必要があります。また、GLHS 校、SSH および SGH 指定校としての多様な企画についても、生徒全体に向学心を持たせるような内容を充実させるよう検討してまいります。

2. 進路指導、学校行事、部活動、生活指導について

進路指導面では、**項目 12**「将来の進路について適切な指導を行っている」について (H28) 76.7% ⇒ **(H29) 75.2%** の肯定的評価をいただきましたが、**項目 13**「生徒の進路に関して、家庭との連携がとれている」についての肯定的評価は (H28) 58.40% ⇒ **(H29) 56.2%** と低く、進路関連の取組を保護者に直接メール配信するなど情報発信の方法を工夫する必要があると言えます。

学校行事や部活動への満足度は高く、学習とともに教育活動の柱であるとの認識を学校と共有できていると考えられます。

生活指導面では、**項目 15**「生活指導の方針に共感できる」について (H28) 84.0% ⇒ **(H29) 82.1%** の肯定的評価をいただきましたが、**項目 14**「生活指導面で家庭への連絡をきめ細かく行っている」については肯定的評価が (H28) 51.20% ⇒ **(H29) 49.6%** となっており、家庭との連携をより密に行っていきたいと考えております。

3. 全般について

項目 1「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」の肯定的評価が (H28) 88.8% ⇒ **(H29) 86.6%**
項目 2「子どもは充実した学校生活を送っている」の肯定的評価が (H28) 91.7% ⇒ **(H29) 91.4%** となっており、学校の教育活動全般を評価しているといえます。

項目 27「学校のホームページ（校長ブログなど）を見ている」について、本校ホームページをご覧になられている肯定的評価が (H28) 34.1% ⇒ **(H29) 38.8%** でした。作年度から校長ブログを平日は毎日更新、今年度から週に一度「豊高の進路指導」を連載するなど、より学校の取組みの様子をお伝えできるよう改善しているところです。

その他、改善が必要な項目として、

項目 19「子どもの心身の健康や進路について気軽に先生に相談できる」の肯定的評価が (H28) 58.7% ⇒ **(H29) 61.4%**

項目 26「P T A活動には参加しやすい」の肯定的評価が (H28) 57.1% ⇒ **(H29) 55.4%** という結果でした。

項目 19については、生徒アンケート「担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談することができる先生がいる」の肯定的評価が **(H29) 49.7%**、「先生は進路・学校生活の悩みや相談に親身になって応じてくれる」の肯定的評価が **(H29) 82.6%** と、担任以外の教員でも心身の健康や進路指導について気軽に相談に応じることができる体制作りが必要であると考えております。**項目 26**「P T A活動には参加しやすい」についても、保護者の皆様が学校行事等を通じてP T A活動に気軽に参加できるようP T A役員の方々に働きかけてまいります

※ 学校教育自己診断の全項目は、本校ホームページに掲載しております。是非ご覧ください。

http://www.toyonaka-shs.ed.jp/?page_id=54